

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第185号

[2023年1月31日発]

「如月(きさらぎ)」

昭和大学附属烏山病院 診療科長補佐 真田 建史

2023年の幕開けから、早いもので一ヶ月が経ちました。「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言いますように、1月は往ってしまい、逃げるといわれる2月(和風月名、如月)を迎えております。職員の皆さまにおかれましては、今年が平穏な一年になるべく、穏やかなスタートを切られていることと思います。

昨年、烏山病院では様々な問題が起きました。年始から、2022年度診療報酬改定に伴う、精神科救急入院料(いわゆる、スーパー救急)の病床数の問題に直面しました。移行措置として認められていたスーパー救急の病床数を現行の94床から60床以下にしなければならないというものでした。これには、他病棟を巻き込んだの工事が予想され、複数のプランを用意して、対応に追われました。結果としては、すでに皆さまご承知のように、現行の94床を維持できることになり、現在に至っております。2月にはC3病棟(高齢者・認知症病棟)で新型コロナウイルス感染症病棟内クラスターが発生しました。陽性となった患者さんのうち、10名は昭和大学横浜市北部病院をはじめ、複数の病院に転院していただきました。ギリギリの状況下において、職員の皆さま一人一人の「何とかしたい、改善したい」という気持ちが更なる拡大を防いだのではないかと思います。この経験から多くの学びがあり、現在の対策や対応に活かされています。年度が替わりましても、医療安全上の問題がいくつか起こりましたが、その都度、職員の皆さまの柔軟な対応により、解決していくことが出来ました。

烏山病院は3年後の2026年5月に創設100周年を迎えます。今年はコロナ禍も4年目を迎え、これまでとは違う新たな対応の必要性を皆さまも感じられていることと思います。烏山病院は1926年(大正15年)の開設以来、統合失調症(当時は精神分裂病)を中心とした精神科患者さんの社会復帰活動を長らく支援してきました。しかしながら、2008年以降は、スーパー救急病棟の稼働と共に、成人を対象とした発達障害(自閉スペクトラム症や注意欠如多動症)の専門外来やデイケアを開設して、多様化する患者さんのニーズに応えるべく、シフトチェンジしてまいりました。3年後の創設100周年に向けて、いまこそ、患者さんのために何が出来るのかを改めて皆さまに問い続け、共に考えていきたいと思っております。今年も引き続き、よろしく願い申し上げます。



オンラインでOB会を行いました！！

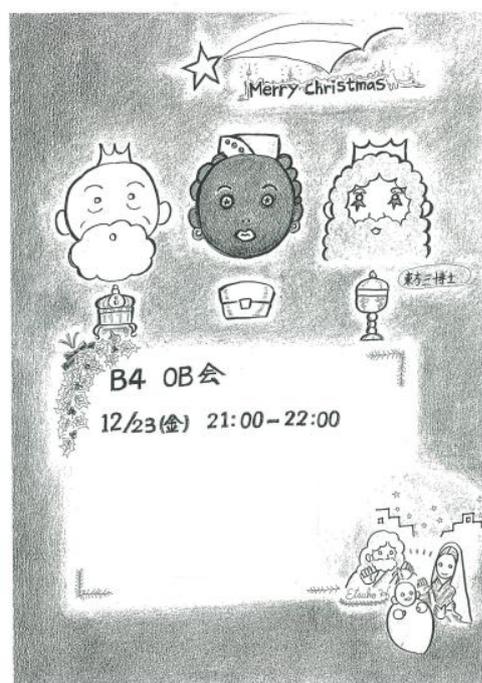
精神保健福祉士 石山 瑞穂

12月23日（金）B4病棟を退院された患者さんを対象にしたOB会が開催されました！コロナ禍以前は対面で開催されていたそうですが、今回はオンラインでの開催となりました。

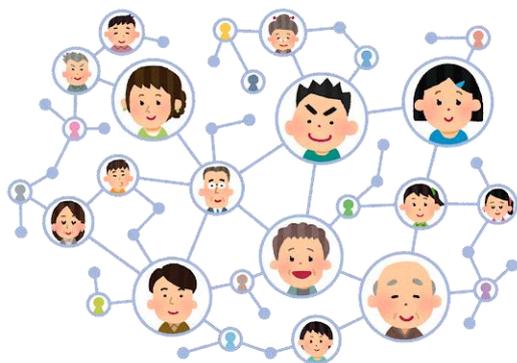
OB会とは、慢性期病棟であるB4病棟を退院された患者さん、入院中のB4患者さん、B4スタッフ（今回は医師・看護師・薬剤師・精神保健福祉士）がオンライン上で顔を合わせ、それぞれの最近の近況を報告しながら雑談をするアットホームな会です。宣伝ポスターは現在入院中の患者さんが作成してくださり、その効果もあって今回は約20名の患者さんが参加をしてくれました。また、OB患者さん同士のお声がけもあり、当院以外を通院先にしている患者さんの姿もありました。

B4病棟は、急性期病棟と比べると入院期間が長い方が多いので、その分スタッフとの関わりも長く思い入れのある患者さんがたくさんいらっしゃいます。退院されてからの様子を病棟スタッフは中々知ることができないので、患者さんたちが元気に生活している話をOB会を通して聞くことができ、私たち医療スタッフもとても元気ももらえました！参加してくださった方、ありがとうございました。

次回は3月24日（金）21時～22時まで開催予定です。B4病棟に入院していた方であればどなたでも対象になります。皆様の参加を心よりお待ちしております！



↑患者さんが作成してくれたポスター



自己紹介

臨床心理師 佐藤 里穂

はじめまして。12月16日より公認心理師として入職しました佐藤里穂と申します。これまでは学生相談、メンタルクリニック、NPO法人でのひきこもり支援、治験・臨床研究における心理評価業務などに携わってまいりました。今後は外来での業務やC4病棟にてお世話になります。

烏山病院のような大きな病院で働くのは初めてなので、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、精一杯頑張ってまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



ハラスメント防止について

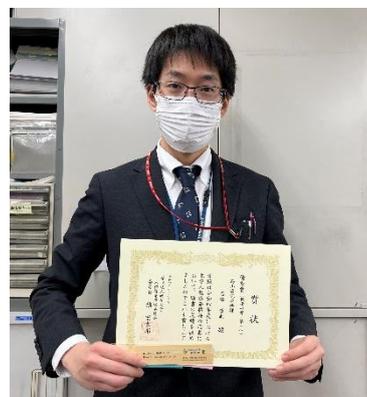
事務課 石田 哲也

この度学内人権啓発標語にて優秀賞をいただきました。

私は、ハラスメントに関する標語を作成しました。誰もが加害者になりえるハラスメント、その多くはハラスメントと認識しておらず、加害者と被害者のハラスメントに対する認識の齟齬によるものが多いのではないかと考えています。物事のとらえ方は人それぞれであり、齟齬なく何かを行うことはできません。なので、感情や勢いに任せて動こうとした際に、一息おいて自分の行いを顧みてください。その些細な行い1つでハラスメントは減らせるのではないのでしょうか。

私の考えた標語がハラスメント防止の役に立てれば幸いです。

【落ち着いて 一息おいて 我が振りなおす】



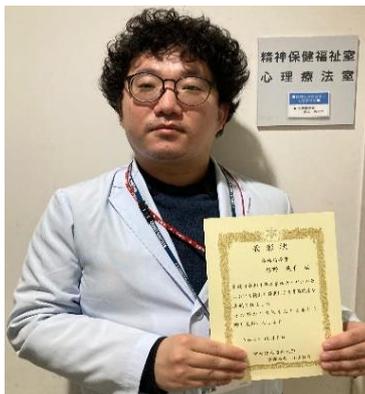
カイゼンの会について

精神保健福祉士 杉野 晃平

令和4年12月8日昭和大学上條記念館にて令和4年度業務カイゼンの会が開催され、大変ありがたいことに、わたくし杉野が事務局賞を受賞致しました。

今回は心理・精神保健福祉室の衛生用品の保管方法に関する業務カイゼンに取り組みました。内容としては決して大きなものでは

ありませんが、業務カイゼンの会のテーマでもある「お金をかけず」「手間をかけず」「知恵をだす」→「業務の無駄をなくす！」に則った改善ができ、実際に業務の手間が省けたのも事実ではあるのでなかなか悪くない改善ができたのかなと感じています。また今回の会をきっかけに、日々の業務でも小さなカイゼンを継続出来たらと思います。



テーマ：衛生用品の在庫チェック

改善前	改善後
マスク等の衛生用品の保管場所が複数箇所あり、また在庫チェックの方法が定まっておらず、不足することがあった。	・災害時用品を保管していた棚を整理し、空いたスペースに衛生用品をまとめて保管。 ・毎月一日を在庫確認の日とした。
	
効果 ・在庫数が見えやすくなり、また在庫確認日を決めたことにより衛生用品が不足することがなくなった。 ・災害用品と同様に保管することによって在庫確認日に懐中電灯等の災害用品の動作確認を行うことが可能になった。	

デイケア活動 クリスマス会🎄

Mさん

デイケアで向上委員会主催のクリスマス会が行われました。デイケアは、みんなの創作プログラム参加者が作ったステンドグラス、陶芸プログラム参加者が作ったクリスマス作品、向上委員会と皆で作ったツリーやクリスマスリースが飾られ、皆サンタの帽子やトナカイの角をつけて、クリスマスムードでした。クリスマスに関するクイズがあり、その後にデイケアスタッフさん対決のマリオカートゲームでどちらが勝つか予想するクイズがありました。スタッフさんたちはカートのコースをはみ出したりぶつかったり苦戦していてそれが面白くてみんな盛り上がっていました。その次にビンゴ大会、じゃんけん大会をしました。それぞれの大会で勝った上位者にはお菓子や小物など景品がありました。その後英会話プログラム参加者によるクリスマスカードの配布とクリスマスソングの合唱がありました。最後に皆お待ちかねのケーキが出されました。皆喜んでいました。コロナ渦でも皆で大きいイベントができたことを嬉しく思うし、向上委員会の皆に感謝を伝えたいです。



←みんなで作ったツリー🎄

陶芸プログラム
クリスマス作品→



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時

◎休診日：日祭日・本学創立記念日・年末年始

《12月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,391(8,498) 5,892(5,938)

◇一日平均患者数 270.7(283.3) 245.5(258.2)

◆診療実日数 31(30) 24(23)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



【編集後記】

皆様、新年明けましておめでとうございます。年の瀬の慌ただしさを駆け抜け、束の間の休暇もあっという間、いつの間にか日常が始まっている今日この頃、新年の実感が今一つないのは私だけでしょうか。皆様の中には新年を迎え、気持ち新たに抱負を考えた方も多いのではないかと思います。今年は兎年、兎が跳ねるように、皆様が飛躍する一年となりますよう願っています。世間では気持ちが辛くなってしまうニュースを聞くこともありますが、そんな時ほど沢山、好きを充電し、エネルギーチャージしてくださいね。



(広報委員 武藤)